

日本史特殊講義5B－Ⅰ

科目ナンバリング JPH-209

選択必修 2単位

宮川 麻紀

1. 授業の概要(ねらい)

日本古代に起きた様々な事件の背景には、どのような政治体制や社会状況があったのか、学んでいく。扱う時代は5世紀から11世紀頃まで、すなわち古墳時代・飛鳥時代・奈良時代・平安時代である。大王を中心としたヤマト王権の政治体制の成立、律令国家の成立と展開、平安時代の摂関政治などについて、分かりやすく解説する。また、「天皇」の誕生と変質や、古代都市である「京」の成立、武士の発生、貴族文化など、様々なテーマを学ぶ。授業は基本的に講義形式であるが、講義内容から習得したことや考えたことを、論述式の間テストやレポートで論じてもらう。古代は遠い昔でミステリアスなイメージがあるが、意外と私たちの身の回りのものやその名前にも、古代に淵源をもつものが多い。また、日本中世・近世・近現代史や外国史を学ぶ前提としても、日本古代史を学んでおくことは重要である。

2. 授業の到達目標

- ①日本古代史の諸テーマについて、簡潔に説明できる。
- ②各テーマについて、どのような説があるか修得する。
- ③自ら問いを立て、自分の力で考察できる。
- ④自説を文章化することができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)中間テスト 持ち込み可、論述式40%
- (2)期末レポート60%

4. 教科書・参考文献

参考文献

木村茂光・小山俊樹・戸部良一・深谷幸治 『大学でまなぶ日本の歴史』 吉川弘文館
佐藤信監修、新古代史の会編 『テーマで学ぶ日本古代史』社会・史料編、政治・外交編 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

以下のような準備学修をしなければ、テストやレポートで評価を得ることが難しくなる。

- ・授業プリントを見直し、分からない部分は各回の参考文献を読み、復習する。
- ・『大学でまなぶ日本の歴史』の指定箇所を読み、基礎的な知識を得る。
- ・レポートに備えて、参考文献を自分で探しておく。

6. その他履修上の注意事項

出席状況や授業態度も評価に反映させる。
ここに挙げた以外の参考文献は、授業内で紹介する。
欠席した回のプリントを早めに入手し、テストに備えることが必須である。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション
・日本古代史とは
・各回のテーマと評価方法の説明 |
| 【第2回】 | 講義 ヤマト王権の誕生と支配体制
・ヤマトに誕生する支配体制と豪族の反乱
・倭の五王と宋王朝 |
| 【第3回】 | 講義 部民制と氏姓制[オンライン]
・豪族と支配民との関係
・氏名(ウジ名)―名字のルーツ― |
| 【第4回】 | 講義 蘇我氏台頭と大化改新
・蘇我氏・物部氏の政権と厩戸皇子
・乙巳の変と大化改新 |
| 【第5回】 | 講義 律令制の導入と地方支配の変化
・「近江令」から養老律令までの変遷
・評制から国郡里制へ
・壬申の乱 |
| 【第6回】 | 講義 飛鳥の荘厳化
・磐余・磯城から飛鳥への王宮の移動
・都市化する飛鳥 |
| 【第7回】 | 講義 官僚制と官人の生活
・官人の仕事・給与・生活
・都での暮らしぶり |
| 【第8回】 | 講義 京の成立と展開
・藤原京の成立と終焉
・平城遷都と京の構造 |
| 【第9回】 | 中間テスト
講義 律令国家財政と流通
・租庸調と中央・地方の財政システム
・東西市と流通、商人 |
| 【第10回】 | 講義 地方支配とその変質
・国司・郡司の任務
・金石文・木簡からわかる地方の実態 |
| 【第11回】 | 講義 「天皇」の変質
・大王から天皇へ、天皇の性質の変化
・天皇と太上天皇(上皇)
・天皇の衣服・儀礼 |

- 【第12回】 講義 古代社会の変質と政変
・伝統的氏族の没落と度重なる政変
・藤原北家の台頭と摂関政治の始まり
- 【第13回】 講義 貴族と武士
・地方社会の変化と富豪層の発生
・天慶の乱と武士の発生
・宮廷に仕える武官
- 【第14回】 講義 摂関期の政治と文化
・摂関をめぐる争い
・平安時代のキサキと国母
・怨霊信仰とケガレ
- 【第15回】 講義 古代日本と国際関係
・唐・新羅・渤海との関係性
・国際社会で活躍する商人